



# リチウム電池の手入れ方法

BMSで保護された最新のリチウム電池は、初期の充電式電池に比べて、驚くほどの長寿命と高い信頼性を備えています。いくつかの注意点があります。

## 2つの重要なルール

### 保管中の消耗を避ける!

保管中に致命的な過放電が起こるのは、バッテリーが棚の上に置かれているだけで、ゆっくりとその充電がなくなっていくからです。リチウムバッテリーは他の化学物質に比べて過放電に弱く、1セルあたり2.5V以下になってはいけません。このリスクを減らすために、保管前にバッテリーが最低でも50%以上充電されていることを確認し、バッテリーの消耗を増加させる可能性のある負荷から、物理的に外してください。充電が必要になるまでの期間は、6~12ヶ月です。バッテリーの電源を入れたままのE-バイクにプラグを差し込んだままにすると、数週間のうちにパンクしてしまいます。そして、数週間後には回復不能なダメージを受けます。

### 冷えている間は充電しないでください!

バッテリーの充電は、室温で行うのが理想的です。もし5°C以下の場合、害を防ぐために、できるだけゆっくりと充電してください。氷点下での充電は非常に危険です。

バッテリーを-20°C(-4F)で放電しても問題ありませんが、性能が著しく低下します。寒冷地では、使用するまでバッテリーを屋内で温めておくことをお勧めします。

## 電池を長持ちさせるコツ

### オーバサイズのバッテリーパック

ニーズを満たす最小のバッテリーを手に入れることは、多くの場合経済的な行為ではありません。同じ使用状況であれば、小型のバッテリーは大型のバッテリーよりも早く容量が減少します。容量が減少しても、大きなバッテリーの方がより長く使用することができます。Cレートの低下、部分的な充電、浅いサイクルなどは、すべてオーバサイズバッテリーの利点となります。

### 充電はゆっくりと

急速充電は便利ですが、多くの場合不要です。急を要する時には、8Aの高速Satiatorプロファイルを使用し、夜間充電には2~4Aの低速プロファイルを使用してください。最大の充電電流は、最大の放電電流よりも摩耗が大きくなります。

### 部分充電

セルあたり4.2V(100%)で充電すると、1回の充電での走行距離が最大になりますが、より低い電圧(4V~4.1V、80~90%)で充電すると合計のサイクル寿命が大幅に向上します。全走行距離が必要でない場合は、恐れずに部分充電で走行を開始してください。Satiator充電器をお持ちの方は、プライマリーオーバーナイトチャージを85%プロファイルに設定してください。必要などのために100%は取っておきましょう

### シーケンシャル(逐次)ではなくパラレル(並行)

余裕を持って持ち運べる量のバッテリーを、すべて同時にご使用ください。2本のバッテリーを並列に使用することで、放電電流を小さくし、サイクルを浅くすることができます。1つのバッテリーを使い切ってから、もう1つのバッテリーを接続するよりも賢明な方法です。

## 最終注意

リチウム電池は、適切に手入れされていても、不意に発火することがあるので注意が必要です。特に充電中は注意が必要で